

平成29年 9月 1日

一般社団法人 大分県建設業協会 様

鹿児島県木材協同組合連合会
会 長 柴 立 鉄 彦

国産ツーバイフォー部材利用促進研修会の開催について（ご案内）

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、鹿児島県においては、(株)さつまファインウッドがスギ材による2×4住宅部材の量産専用ラインを整備し、本格的な生産を開始しているところであります。

今回、この国産ツーバイフォー部材の利用促進を図るため、下記のとおり研修会を開催することとなりました。

何かとご多忙な時期とは思いますが、ご参加賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、貴協会からメール等による会員への周知も併せてお願いいたします。

記

- 1 開催場所：福岡県福岡市博多区千代1-2-31
「ホテル・レガロ福岡」
- 2 開催日時：平成29年10月24日（火）
10：30～15：30
- 3 主 催：鹿児島県木材協同組合連合会
（鹿児島県かごしま材振興課補助事業「かごしま材利用推進事業」を活用）
共 催：一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会
- 4 開催内容（タイムスケジュール）
 - I 開 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10：30～10：35
 - II 地域材の利用について
 - ・ 国産2×4部材の生産状況・品質について（25分）・・・・10：35～11：00
講師：(株)さつまファインウッド 専務取締役 藤村 要 氏
・ 国産スギ ツーバイフォー部材生産 専門工場
 - III オール国産部材による戸建て住宅の建築―地域材を利用して―
 - ・ 2×4戸建て住宅の挑戦（60分）・・・・・・・・・・・・11：00～12：00
講師：設計事務所（有）アトリエエーワン 代表取締役 三原 栄一 氏
 - （ 昼 食 ）・・・・・・・・・・・・12：00～13：00

IV 枠組壁（2×4）工法による施設系建築 —地域材を利用して—

- ① ツーバイフォー協会の施設系建築物への取組み(60分)・13:00～14:00
講師：西武建設(株)戸建事業部 技術担当部長 中村 孝 氏
(一社)日本ツーバイフォー建築協会 中高層・大規模建築特別委員会 委員長)
・ ツーバイフォー協会のこれまでの取組み・実績・会員企業の紹介
・ ツーバイフォー施設系建築で必要とされる技術の解説
- ② 施設系建築の設計の実務(45分)・・・・・・・・・・・・・・・・14:00～14:45
講師：設計事務所 松本設計ホールディングス(株)代表取締役 松本 照夫 氏
・ 基本設計、実施設計、構造計算など実例をもとに解説
- ③ コンポーネント会社の役割(45分)・・・・・・・・・・・・・・・・14:45～15:30
講師：三井ホームコンポーネント(株)開発営業本部 施設開発部 部長 葛西 卓 氏
・ 木造ファブリケーターとしての機能など実例をもとに解説

VI 閉 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:30

【(株)さつまファインウッドとの商談会】・・15:35～

5 申し込み期限：平成29年10月10日(火)まで(FAX又はメール)

問 合 せ 先	〒891-0115 鹿児島市東開町3番2号 鹿児島県木材協同組合連合会 業務部長 栗巢憲一郎 TEL 099-267-5681 FAX 099-267-2407 E-mail: kurisu@k-wood.com
------------------	---

ツーバイフォー建築に国産材の活用をお考えの企業の皆様へ

国産ツーバイフォー部材

利用促進研修会

参加費
無料

開催日時

平成29年10月24日(火)

10:30～15:30

受付 10:00～

講演 10:30～15:30

商談会 15:30～16:30

講演会場

ホテル・レガロ福岡 3階「ローズルーム」

福岡県福岡市博多区千代1-20-3 TEL092-651-7611

ツーバイフォー工法による住宅着工戸数は年間10万戸を越え、国産材の新たな需要が見込まれることから、鹿児島県では(株)さつまファインウッドを誘致し、国産ツーバイフォー部材の量産専用ラインが本格稼働したところです。今回、国産ツーバイフォー部材の利用促進を図るため研修会を企画しました。

この機会に是非ご参加ください。

講演 (地域材の利用及びツーバイフォー工法による施設系建設)

- 国産ツーバイフォー部材の生産状況・品質について・・・・・・・・・・ (10:35～11:00)
(株)さつまファインウッド 専務取締役 藤村 要 氏
- オール国産部材によるツーバイフォー戸建て住宅の建築・・・・・・・・ (11:00～12:00)
設計事務所(有)アトリエ エーワン 代表取締役 三原 栄一 氏
- ツーバイフォー協会の施設系建築物への取組み・・・・・・・・・・ (13:00～14:00)
西武建設(株)戸建事業部 技術担当部長 中村 孝 氏
(一社)日本ツーバイフォー建築協会 中高層・大規模建築特別委員会 委員長
- 施設系建築の設計の実務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (14:00～14:45)
設計事務所 松本設計ホールディングス(株)代表取締役 松本 照夫 氏
- コンポーネント会社の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (14:45～15:30)
三井ホームコンポーネント(株)開発営業本部 施設開発部 部長 葛西 卓 氏

【主催：鹿児島県木材協同組合連合会】・【共催：社団法人日本ツーバイフォー建築協会】

(鹿児島県かごしま材振興課補助事業「かごしま材利用推進事業」を活用)

お申し込みはこのまま



FAXで【10月10日（火）締切】

FAX 099-267-2407まで送信ください。

国産ツーバイフォー部材利用促進研修会

（10月24日（火）開催）申込書

御社名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-MAIL			
参加者	役職名	ご氏名	※ 昼食は当方で準備します。
			その他 ご要望事項

※ ホテル・レガロ福岡 福岡県福岡市博多区千代1-20-3 TEL092-651-7611

お車でお越しの方

各地より

福岡空港 → 車15分 → ホテル・レガロ福岡

JR博多駅 → 車10分 → ホテル・レガロ福岡

無料駐車場 50台完備

至中洲 至博多

C: 高速 福岡都市高速[千代]ランプ 5分
D: 高速 福岡都市高速[呉服町]ランプ 10分
E: バス 西鉄バス[千代町]下車 4分

❖お問い合わせ先 鹿児島県木材協同組合連合会 専務理事 堂込・業務部 栗巢

〒891-0143 鹿児島市東開町3番2号 TEL099-267-5681

FAX099-267-2407, E-mail:kurisu@k-wood.com



会社概要

設立経緯 ～かごしま材の新需要開拓～

伊万里木材市場は2011年12月南九州営業所を曾於市に開設し、鹿児島県産材の需要先を確保する上で、製品のJAS化が必要不可欠であると考え、かごしま材JAS製品流通加工センター施設を整備しました。また、大手ハウスメーカーから枠組壁工法構造用製材(2×4用材)の国産材化の依頼を受け、国産材での2×4用材の安定供給体制を構築しました。

株式会社さつまアindowoodは、国産材2×4用材の生産ラインを整備し、かごしま材の新需要開拓を目指した生産拠点として、かごしま材の利用拡大をはかり、大手ハウスメーカーとの継続取引契約に基づいた安定した事業経営を行います。

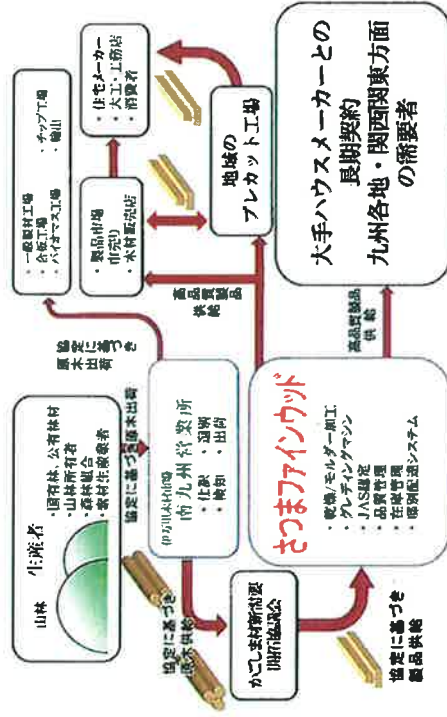
[商号]	株式会社さつまアindowood
[所在地]	鹿児島県霧島市 国分上野原テクノパーク1247-23 TEL:0995-73-8186 FAX:0995-73-8187
[資本金]	4,000万円
[設立]	平成25年11月22日
[代表者]	代表取締役 林 雅文



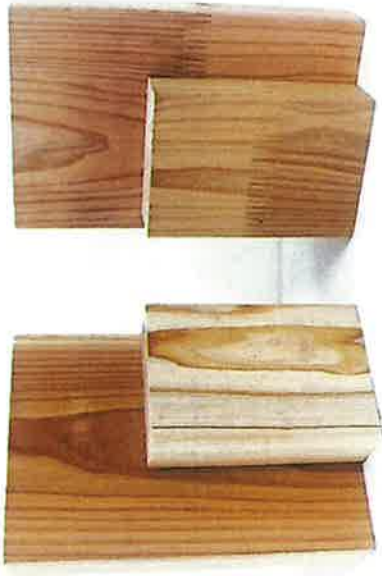
事業概要

サブライチチェーンの構築

さつまアindowoodは、「かごしま材JAS製品流通加工プロジェクト」を立ち上げ、鹿児島から新たな木材の流通加工供給システムを実践します。
鹿児島県内の川上・川中・川下が一体となった原木生産のサブライチチェーンを通じ、県内外の需要者及び住宅メーカーにジャヤストインタイムで高品質な木材製品を供給いたします。



1. 豊富なかごしま材の蓄積量
2. 伊万里木材市場のカスケード利用へ原木の供給体制
3. かごしま材新需要開拓協議会の製材工場群
4. さつまアindowoodの木材を工業製品化する生産システム



営業内容

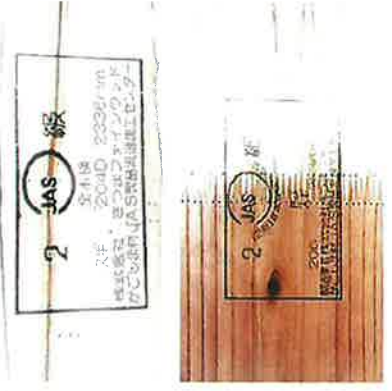
ラフカットされた枠組み壁工法構造用製材(2×4用材)及び構造用製材を製材業者から購入し、天然乾燥、人工乾燥、強度測定、モルタル加工、品質検査を経てJASマークを印字する工程を一連とし、生産を行います。

○天然乾燥
土場にて3ヶ月～4ヶ月程度の天然乾燥

○人工乾燥
マレーシア製のバイオマスボイラーによる人工乾燥

○強度測定
MSRR機(グレーディングマシン)による全量検査

○品質検査
枠組壁工法構造用製材の日本農林規格製材の日本農林規格





2×4工法

枠組壁工法(2×4工法)は、木造軸組工法やプレカット工法と並ぶ木造住宅工法の一つです。2×4工法は、2×4部材と構造用合板等を使い、パネル(壁、床、天井)をつくり、これを組み立て建物を構築します。北米由来の工法であり現在では、世界各国に普及しています。日本においては、昭和49年からオープン化され、住宅着工数を増やし続けています。

2×4工法の特徴

1. 耐震性に優れている。
枠組壁工法により、面構造を構築し、建物全体で外力を分散することにより、一部分に集中する事を防ぐ為、地震に強くなります。
2. 耐火性に優れている。
部材相互の密接度が高い為耐火性に優れている。また、断面の大きい木材は燃えたと表層部が炭化して、延焼の進行を止めます。中心部は残っているので強度は保ったままとなります。
3. 施工が早い
工法がマニュアル化されており、パネルを建てこむ方式なので施工がしやすい。使用する部材は規格の種類が少ないので取扱いが容易です。加えて使用する釘は専用のものを使用するので品質にバラつきのない住宅を建てる事が可能です。
4. 気密性に優れている
パネルを組み合わせる工法のため部材相互の気密性が高くなります。そのため、断熱性と保温性、遮音性にも富んでいます。



全量検査・抽出検査

含水率検査



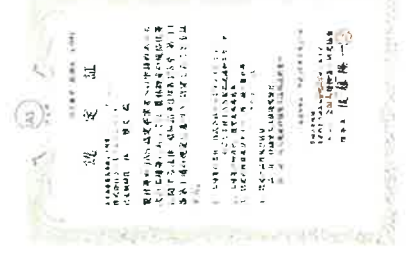
強度測定



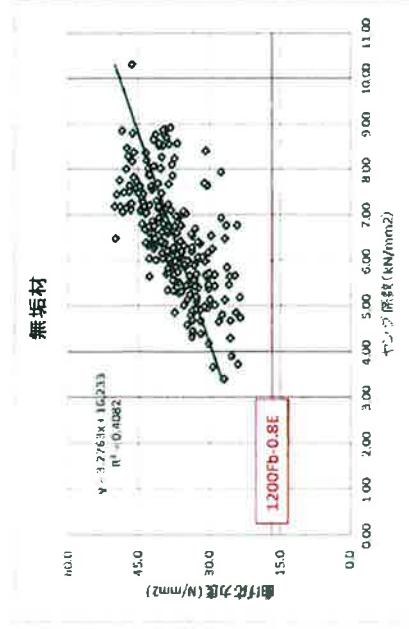
破壊試験(抽出)



煮沸試験(抽出)



製品品質～たわみと曲げ強度の相関～



たて継ぎ材

